

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



文化課エコミュージアム推進室 (内線 541)

# 東連地町ハイキングコース 距離：約4.5km 所要時間：2時間

200年前、大分県臼杵市から病父を迎えに来るため、約300里(1,200km)を旅した孝行姉妹「豊後国二孝女」ゆかりの寺「青蓮寺」がスタート地点となります。今回は晩秋に歩いたこともあり、青蓮寺周辺のもみじや銀杏が、非常に美しい自然の情景をみせていました。山田川沿いに歩きはじめると馬頭観音や頌徳の碑、嵯峨神社、六地藏など数多くの史跡があり、歴史を感じさせます。美しく歴史あふれる東連地町を歩いてみませんか。

### 4 猿田東風頌徳の碑



東連地に生まれ、私塾を開き教育と村の行政に尽力。山田村農会長・山田村長などの要職を歴任。大正10年、門下生たちがこの碑を建てた。山田小学校の校歌の作者者でもある



### 3 田中愿藏生誕地の碑



猿田玄碩の5男としてこの地に生まれ、養子となり姓を田中と改め、尊王倒幕の志を抱き筑波山に挙兵し幕府兵と戦う。塙(福島県)の久慈川畔にて処刑され、絶命の辞が刻まれている。享年21歳

### 2 馬力神



下平橋近くの桜並木の中に馬力神の碑がある

### 1 青蓮寺



臼杵市から旅をした二孝女ゆかりの寺。畠山重忠の第二子重秀は、出家し常陸の国に巡ってきた時、聖徳太子の夢をみて親鸞の弟子となり、ここに住み寺号を青蓮寺と改めたという。本尊は木造阿弥陀如来立像

### 5 嵯峨神社元宮跡



源頼義が安倍氏の奥州征伐の際に立ち寄り創建したと伝えられている。戦の余炎で社は礎を残すのみとなった

### 6 嵯峨神社



信仰の厚い地元の住民により再建された後、徳川光圀公の命により、現在地に移された

### 7 六地藏



真ん中が振り分け地藏。六地藏とは、六道(天道・人間道・修羅道・畜生道・餓鬼道・地獄道)を迷う衆生を救う地藏様のこと

### 8 不動尊堂



不動尊とは不動明王のことで、社の中に石像があり、作製年代は不明であるが、右手に降魔の剣、左手に羅索という綱を持つ